様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1 一①を用いること。

学拉夕	「東方エフトラベル・ホテル東朗受抗	
上 子 仪 包	<u> </u>	
=∩. == 2×	一一一一一一	
1 改通日	子仪広入田中月央云	

○「実務経験のある教員等による授業科目」の数

○一天伤衽験ののの	枚員等による授業科目」の数				
課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のあ る教員等によ る授業科目の 授業時数又は 単位数	省令で定める 授業時数又は 基準単位数	配置困難
	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) フライトアテンダントコース	夜間· 通信	1134 時間	80×2= 160時間	
	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) グランドスタッフコース	夜間・ 通信	1170 時間	80×2= 160時間	,
:	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) グランドハンドリングコース	夜間・ 通信	1134 時間	80×2= 160時間	
	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) エアラインビジネス・大学コース	夜間・ 通信	1134 時間	80×2= 160時間	
	ホテル科 (2年制) サービススタッフコース	夜間• 通信	1566 時間	80×2= 160時間	
	ホテル科 (2年制) ホテルビジネス・大学コース	夜間 通信	1710 時間	80×2= 160時間	
	観光・ツーリズム科 (2年制) トラベルスタッフコース	夜間• 通信	1296 時間	80×2= 160時間	
	観光・ツーリズム科 (2年制) ニューツーリズムコース	夜間・ 通信	1296 時間	80×2= 160時間	
	観光・ツーリズム科 (2年制) ツーリズム開発・大学コース	夜間・ 通信	1332 時間	80×2= 160時間	
商業実務専門課程	鉄道交通科 (2年制) 総合運輸・鉄道コース	夜間・ 通信	360 時間	80×2= 160時間	
	鉄道交通科 (2年制) 鉄道ビジネス・大学コース	夜間・ 通信	360 時間	80×2= 160時間	
	ブライダル科 (2年制) プランナーコース	夜間・ 通信	1224 時間	80×2= 160時間	
	ブライダル科 (2年制) ビューティーコンシェルジェコース	夜間・ 通信	1224 時間	80×2= 160時間	
	ブライダル科 (2年制) ライフイベントプロデュース・大学コース	夜間・ 通信	1476 時間	80×2= 160時間	
:	総合ビジネス科 (2年制) 事務エキスパートコース	夜間・ 通信	1512 時間	80×2= 160時間	
	総合ビジネス科 (2年制) 好きなことを仕事にするコース	夜間・ 通信	1512 時間	80×2= 160時間	
	総合ビジネス科 (2年制) 大学コース	夜間· 通信	1548 時間	80×2= 160時間	
	研究科 昼間部 (1年制)	夜間・ 通信	648 時間	80×1= 80時間	
	大学併修学科 (4年制)	夜間• 通信	1368 時間	80×4= 320時間	
	英語キャリア科 (2年制) キャリアデザインコース	夜間・ 通信	1728 時間	80×2= 160時間	
文化教養専門課程	英語キャリア科 (2年制) 海外留学コース	夜間・ 通信	1764 時間	80×2= 160時間	
	英語キャリア科 (2年制) グローバルビジネス・大学コース	夜間・ 通信	1944 時間	80×2= 160時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表公表方法 HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。 (掲載: https://technosac.jp/school/air-information-disclosure.pdf)

3. 要件をみたすことが困難	である学科
学科名	
(困難でなる理由)	

(困難である埋由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校 法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いる こと。

	·	
学校名	東京エアトラベル・ホテル専門学校	
設置者名	学校法人田中育英会	

1. 理事(役員)名簿の公表方法

HP にて理事名簿を公開している

(掲載:https://technosac.jp/school/air-information-disclosure.pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大学名誉教授	2020/4/1- 2025/3/31	教育全般に対する提 案・指導・チェック や、大学関係者との 橋渡しを期待する。
非常勤	飲食関連顧問	2020/4/1- 2025/3/31	飲食関連をはじめ、 ホテルや観光関連に 関した知見を元に、 関連教育へ生かして いただく。
(備考)			

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京エアトラベル・ホテル専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

エアラインサービス科(2 年制)、ホテル科(2 年制)、観光・ツーリズム科(2 年制)、鉄道交通科(2 年制)、ブライダル科(2 年制)、総合ビジネス科(2 年制)、研究科(1 年制)、大学併修学科(4 年制)、英語キャリア科(2 年制)

〔作成について〕

各授業科目については毎年度系部長会議により授業科目の設定・講義内容についての 検討・検証に基づき各授業を担当する教員が作成する。

授業科目名、必要時間数、担当教員名、到達目標・テーマ、講義内容、授業計画、成績評価方法、教科書等に関する事項は全科目共通で記載することが必須であり学内統一様式でシラバスを作成している。

〔時期について〕

翌年度の講義予定は12月~1月に担当教員が作成し、3月の理事会で承認を受ける。3月中に翌年度分のシラバスをHPに公開している。

授業計画書の公表方法

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

「学則」「学生生活のしおり」において成績評価、履修について規定している。 各学科で定める授業科目の試験(レポート、小テスト等を含む)により成績評価を 行っている。

〈参考〉

学則第21条 校長は教育課程の定めるところにより、修了すべき教科目を試験等による評価のうえ修了したと認める者には当該教科目の修了を認定する。

学生生活のしおり

(掲載:https://www.technosac.jp/current/)

V-1-6 成績評価

(1) 成績は定期試験、小テスト、レポート、提出物、学習態度、出席率の総合評価によって決定される。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとと もに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価においてはGPAを導入し、学内の成績評価として使用している。 GPAは学生の履修した科目あたりの平均成績を指す。

本校では独自奨学金、学業優秀者の選考資料として教員会議で活用している。 学業成績は授業科目ごとに行う試験(定期試験、小テスト、レポート等)によって 評価される。評価点数により100~90点をS、89点~80点をA、79点~7 0点をB、69点~60点をCとして通知する。

成績評価方法についてはHPで公開するほか、学生生活のしおりに掲載し入学時オリエンテーションで新入生に通知している。

客観的な指標の 算出方法の公表方法 https://technosac.jp/school/air-information-disclosure.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

東京エアトラベル・ホテル専門学校は人生100年時代で多様化する社会に対応する ため専門性・人間力・総合力の本質的な力を持った「本物の職業人」を育成すること を目的としている。

卒業要件については各学科定める所定の全授業科目を所定の年次に全て合格する事を定めている。詳細についてはディプロマポリシーはじめ学則、学生生活のしおりに掲載しており、HPに公表している。

卒業の認定に関する 方針の公表方法 HPへの掲載

https://technosac.jp/school/air-information-disclosure.pdf

様式第2号の4-②【4)財務・経営情報の公表(専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4 -①を用いること。

学校名	東京エアトラベル・ホテル専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月上旬に最新情報HP公開している https://technosac.jp/school/air-information-disclosure.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

2020年度評価について、学校HPに公開している。

(掲載:https://technosac.jp/school/air-information-disclosure.pdf)

学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)

2021 年度~2022 年度 5名の委員を選出し学校関係者評価委員会を組織済み。 各位委員の知見を生かし教育内容・学校運営等について評価を実施する。 評価内容を理事会、ボード会、教務委員会に報告し、次年度以降に取り組む。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
NPO法人 理事	2021年4月1日~	NPO法人
	2023年3月31日	
商社 役員	2021年4月1日~	企業
	2023年3月31日	
ホテル 管理職	2021年4月1日~	企業 (卒業生)
	2023年3月31日	
ウエディング会社 管理職	2021年4月1日~	企業
	2023年3月31日	
学校法人 評議委員	2021年4月1日~	卒業生
	2023年3月31日	

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

2022年3月に委員会を開催、2020年度評価をHPで公開している。

(掲載: https://technosac.jp/school/air-information-disclosure.pdf)

第三者による学校評価(任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

HPアドレスは https://www.technosac.jp/air/

資料請求は https://www.school-go.info/19gi13/technosac/form.php?fno=1&fsno=1&nnso=72

②学校単位の情報

科 (修業年限) コース名称	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
アラインサービス科 間制 (年制) ライトアテンダントコース / グランドスタッフコース / グランドハンドリングコース / エアラインビジネス・大学コース	200,000 円	750,000 円	330,000 円	
テル科 関制 年制) ービススタッフコース / ホテルビジネス・大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
光・ツーリズム科 間制 (年制) ラベルスタッフコース / ニューツーリズムコース / ツーリズム開発・大学コース	200,000 円	550,000 円	330,000 円	
道交通科 問制 (年制) 道・運輸コース / 鉄道ビジネス・大学コース	200,000 円	450,000 円	330,000 円	
ライダル科 間制 2年制) ランナーコース / ビューティーコンシェルジェコース / ライフイベントプロデュース・大学コース	200,000 円	550,000 円	330,000 円	
合ビジネス科 間制・ 年制) 務エキスパートコース / 好きなことを仕事にするコース / 大学コース	200,000 円	550,000 円	330,000 円	
· 究科 間制 年制)	200,000 円	400,000 円	100,000 円	
学併修学科 問制 (4年制)	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
語キャリア科 間制 - 年制) ・ャリアデザインコース / 海外留学コース / グロー・バルビジネス・大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	

(別紙)

- ※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「一」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	東京エアトラベル・ホテル専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者(家計急変 による者を除く)		39 人	48 人	87 人
内	第I区分	26 人	32 人	
	第Ⅱ区分	11 人	12 人	
訳	第Ⅲ区分	一人	一人	
家計急変による 支援対象者(年間)				0人
	合計(年間)			87 人
(備	考)			
	to be a local section of the section			

- ※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。
- ※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。
- 2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数
- (1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0.4.1
一十月	U / L

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	限り、認定専攻和 専門学校(認定専	E限が2年のものに トを含む。)、高等 I攻科を含む。)及 年限が2年以下の 限る。)			
	年間	前半期後半期				
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	0人	0人			
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人			
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人			
「警告」の区分に 連続して該当	0人	0人	0人			
計	0人	0人	0人			
(備考)						

[※]備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、 当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得な い事由があると認められず、溯って認定の効力を失った者の数

右	T以外の大学等	含む。)		認定専攻和	艮り、認定専攻科を 斗を含む。)及び専 ものに限る。)
年間	0 人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。) の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	- 人
3月以上の停学	0人
年間計	- 人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより 認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学 等	短期大学(修業年 に限り、認定専政 高等専門学校(む。)及び専門等 2年以下のも	文科を含む。)、 認定専攻科を含 学校(修業年限が
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

分	·野	課程名	学科名	科名		引	高度専門士		
商業	実務	商業実務専門課	程 昼間制	インサービフ (2年制 テンダント)				
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総	開設している授業の種類					
年限	生仪	授業時数又以	講義	演習	実習	実験	奂	実技	
				2592	0	558		0	0
			1728	単位時間	単位時間	単位時間	単位時	쀄	単位時間
2年	昼		単位時間					単位	达時間
	定員数	 	さま 知労事業	専任	教員数	兼任教	員数	総	教員数
	にアラインサービス 生徒実員 うち留学生教		V	ラインサービ 4の内数)	(エアライン ス科の内			エアラインサ エス科の内数	
1	60人	2人	0	人	1人	2	0人		21人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

	777777 - 77777 7-17777 7-1777								
2021 年度 エアライン科の状況									
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他						
38 人	15 人	18 人	5 人						
(100%)	(39, 5%)	(47.3%)	(13. 2%)						

(主な就職、業界等)

ホテル業界(グランベルホテル、ホテル小田急、ブライトンホテル)、事務系(税理士 事務所、歯科医院、商工会議所)、航空業界等

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

観光英語検定

実用英語検定

TOEIC

みんなの英語検定

マナー・プロトコール検定

航空検定(1級、2級)

AXESS スペシャリスト検定(国内・国際準1級、2級)

(備考) (任意記載事項)

ニアライン科の状況)	
年度の途中における退学者の数	中退率
	-
5 人	7.6%
	年度の途中における退学者の数

(中途退学の主な理由)

進路変更、金銭的な理由による

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	·野	課程名	学	科名			専門士		高度専門士	
商業	実務	商業実務専門課	程 昼間制	ンサービス (2年制) スタッフコー			\bigcirc			
修業	昼夜	全課程の修了に必要な総 開設している授業の種類								
年限	生仪	授業時数又に	講義	演習	3	実習	実験	倹	実技	
	•		1728	2592 単位時間	単位時	0 計 間	558 単位時間	単位即	0	0 単位時間
2年	昼		単位時間						単位	上時間
	定員数 シサービス 内数)	生徒実員うち留学生		専任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)				サービ	(=	教員数 エアラインサ ごス科の内数
1	60人	3人	0	人	1	人	2	0人		21人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープ ソキャ)パ 入」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載) 2021 年度 エアライン科の状況 卒業者数 進学者数 就職者数 (自営業を含む。) その他 38 人 (15 人 (100%) (39.5%) (47.3%) (13.2%)

(主な就職、業界等)

ホテル業界(グランベルホテル、ホテル小田急、ブライトンホテル)、事務系(税理士事務所、歯科医院、商工会議所)、航空業界等

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策 (SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削 も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

観光英語検定

実用英語検定

TOEIC

みんなの英語検定

マナー・プロトコール検定

航空検定(1級、2級)

AXESS スペシャリスト検定(国内・国際準1級、2級)

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状(2021年度	エアライン科の状況)	
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66人	5人	7.6%

(中途退学の主な理由)

進路変更、金銭的な理由による

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	·野	課程名	学科名	科名		肩	高度専門士		
商業	実務	商業実務専門課	#実務専門課程						
修業	昼夜	全課程の修っ	了に必要な総		開設して	ている授業	きの種	類	
年限	生化	授業時数又に	講義	演習	実習	実懸	A	実技	
			1728	2592 単位時間	0 単位時間	558	単位時	0 ≢₽#	0 単位時間
2年	昼		単位時間	4-122-0141	1 4 12. 4141	1 + 12-4 (H)			時間
生徒総定員数 (エアラインサービス 科の内数) 生徒実員 うち留学		うち留学生	専任教員数 (エアラインサー ス科の内数)				(=	教員数 アラインサ バス科の内数	
1	60人	1人	0	人	1人	2	0人		21人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンチャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)							
2021 年度 エアポートサービス科の状況							
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他				
5人	0人	5人	0人				
(100%)	(0%)	(100%)	(0%)				

(主な就職、業界等)

航空業界(羽田空港サービス)、運輸業界(東京メトロ)、その他

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策(SPI)・ 集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のパックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

観光英語検定

実用英語検定

TOEIC

みんなの英語検定

マナー・プロトコール検定

航空検定(1級、2級)

アマデウスシステム検定(初級・中級)

(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状(2021年度 エアポートサービス科の状況)						
年度当初在学者数年度の途中における退学者の数中退率						
9人	1人	11.1%				
(1:4:4:4)						

(中途退学の主な理由)

進路変更による

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。 1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	野	課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業	実務	商業実務専門課	程 昼間	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) エアラインビジネス・大学コース		0			
修業	昼夜	全課程の修了に必要な総 開設して			ている授業の種類				
年限	鱼汉	授業時数又に	は総単位数	講義	演習	実習	実	検	実技
				2592	0	558		0	0
			1728	単位時間	単位時間	単位時間	単位	時間	単位時間
2年	昼		単位時間					単位	比時間
(エアライ	に に に に に に に に に に に に に に	生徒実員	うち留学生数	数 (エ	任教員数 アラインサービ 科の内数)	兼任教 (エアライン ス科の内	サービ	(=	教員数 エアラインサ ビス科の内数
1	60人	2人	0.	人	1人	2	0人		21人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載) 2021 年度 エアライン科の状況 卒業者数 進学者数 就職者数 (自営業を含む。) その他 38 人 (100%) 15 人 (39.5%) (47.3%) (13.2%)

(主な就職、業界等)

ホテル業界(グランベルホテル、ホテル小田急、ブライトンホテル)、事務系(税理士事務所、歯科医院、商工会議所)、航空業界等

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策 (SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削 も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

観光英語検定

実用英語検定

TOEIC

みんなの英語検定

マナー・プロトコール検定

航空検定(1級、2級)

AXESS スペシャリスト検定(国内・国際準1級、2級)

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状(2021年度 エアライン科の状況)						
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率				
66人	5 人	7.6%				

(中途退学の主な理由)

進路変更、金銭的な理由による

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	·野	課程名		科名	:科名			高度専門士	
商業	実務	商業実務専門課	程 (2年	ホテル科 (2年制) 昼間制 ービススタッフコース					
修業	昼夜	全課程の修了に必要な総 開設			開設し	せしている授業の種類			
年限	生仪	授業時数又に	は総単位数	講義	演習	実習	実験	奂	実技
			1728	1350 単位時間	単位時間	1 1	単位甲	() 計間	0 単位時間
2年	昼		単位時間					単位	左時間
	定員数	生徒実員	うち留学生		教員数	兼任教			教員数である。
1	20人	17人	0	人	2人	. 2	0人		22人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業者数、進学者数、就職者数 進学者数 就職者数 その他 61人 15人 45人 1人 (100%) (24.6%) (73.8%) (1.6%)

(主な就職、業界等)

ホテル業界(ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル、ホテルインディゴ軽井 沢、星野リゾートマネジメント、パークハイアット東京)等

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

レストランサービス技能検定、ホテルビジネス実務検定、秘書検定、 マナープロトコール検定、英語検定、パソコン検定、観光英語検定、手話検定など

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103人	1 2人	11.7%

(中途退学の主な理由)

・進路変更の為・精神的に通学困難な為・体調不良の為

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	·野	課程名 学科名		学科名		専門士	7	高度	専門士
商業	実務	商業実務専門課	程	ホテル科 (2年制) 昼間制 ホテルビジネス・大学コース		\bigcirc			
修業	昼夜	全課程の修了に必要な総 開設し			開設して	している授業の種類			
年限	生仪	授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	倹	実技
			1728	1602 単位時間	0 単位時間	1224 単位時間	単位甲	寺間	0 単位時間
2年	昼		単位時間					単位	5時間
	定員数	生徒実員	うち留学生数	7X	教員数	兼任教			教員数 トテル科の内 数
1	20人	12人	0	人	2人	2	0人		22人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4、を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)						
卒業者数		就職者数	その他			
		(自営業を含む。)	.0.12			
61人(100%)	$\begin{bmatrix} 1 & 5 & 人 \\ (24.6\%) \end{bmatrix}$	45人 (73.8%)	1 人 (1.6%)			

(主な就職、業界等)

ホテル業界(ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル、ホテルインディゴ軽井 沢、星野リゾートマネジメント、パークハイアット東京)等

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

レストランサービス技能検定、ホテルビジネス実務検定、秘書検定、 マナープロトコール検定、英語検定、パソコン検定、観光英語検定、手話検定など

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103人	1 2人	11.7%

(中途退学の主な理由)

・ 進路変更の為

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	·野	課程名	学	科名		専門士	Ā	高度	専門士
商業	実務	商業実務専門課	商業実務専門課程 (2年		観光・ツーリズム科 (2年制) 昼間制 トラベルスタッフコース				
修業	昼夜	全課程の修	程の修了に必要な総 開設している授業の種類						
年限	生化	授業時数又於	は総単位数	講義	演習	実習	実験	奂	実技
			1728	2574 単位時間	() 単位時間	"-"	単位即	間 も 日本	() 単位時間
2年	昼		単位時間	1 1000 4174	1 1 1-2 4 100	7-122-4174	,	* 17.4	上 上 時間
(観光・ツ	定員数 ーリズム科 h数	生徒実員	うち留学生	汉 (観光	教員数 ・ツーリズム Hの内数	兼任教」(観光ツーリの内数	ズム科	(有	教員数 親光ツーリズム科の内数
	60人	1人	0	人	1人	2	3人		24人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)						
※2021 年度 観光旅行科の状況						
卒業者数	進学者数	進学者数 就職者数 (自営業を含む。)				
11人	4人	4人	3人			
(100%)	(36.4%)	(36, 4%)	(27. 2%)			

(主な就職、業界等)

施設管理業界(ウエルネスサプライ)、ホテル業界(星野リゾート、株式会社山水荘) 他

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

国内・総合旅行業務取扱管理者、サービス介助士、観光英語検定、手話検定など

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状 ※2021 年度	観光旅行科の状況	-
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	4人	18%

(中途退学の主な理由)

進路変更

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	·野	課程名	学	科名		専門士	青	高度専門士	
商業	実務	商業実務専門課	観光・ツーリズム科 (2年制) 昼間制						
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総		開設し	ている授業	業の種	類	
年限	生1%	授業時数又に	授業時数又は総単位数		演習	実習	実験	负	実技
			1728	2574 単位時間	単位時間	828 単位時間	単位時	0	0 単位時間
2年	昼		単位時間					単位	
(観光ツー	生徒総定員数 生徒実員 う 内敷		うち留学生	ち留学生数 専任教員 (観光ツーリズ の内教				(観)	枚員数 ピツーリズ 中の内数
	60人			1 人	. 2	3人		24人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

※2021 年度 観光旅行科の状況

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1 1人	4人	4人	3人
(100%)	(36.4%)	(36.4%)	(27. 2%)

(主な就職、業界等)

施設管理業界(ウエルネスサプライ)、ホテル業界(星野リゾート、株式会社山水荘) 他

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

国内・総合旅行業務取扱管理者、サービス介助士、観光英語検定、手話検定など

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状 ※2021 年度	観光旅行科の状況	
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2 2 人	4人	18%
/ I > A > H > >		

(中途退学の主な理由) 進路変更

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。 1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。 また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	·野	課程名	يز.	学科名		専門士	7	高度専門士	
商業	実務	商業実務専門課	,,-,-	ツーリズム F制) 昼間 f 開発・大学	制	\bigcirc			
修業	昼夜	全課程の修っ	全課程の修了に必要な総 開				美の種	<u>類</u>	
年限	生仪	授業時数又に	受業時数又は総単位数		演習	実習	実験	奂	実技
			1728		単位時間	828	単位即	0	0 単位時間
2年	昼		単位時間	単位時間	单位制 单位相同 单位相同 单位相同 单位相同				
生徒総定員数 (機光・ツーリズム科 の内数 生徒実員 うち留学生数		専任教員数 (観光・ツーリズ 科の内数				(有	教員数 ************************************		
	60人	0人	0	0人 1/		23人			24人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れる。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープソキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教える。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業者数、進学者数、就用	職者数(直近の年度の	の状況を記載)	
※20211 年度 観光旅行和	トの状況		
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

 卒業者数
 進学者数
 6日営業を含む。)
 その他

 11人 (100%)
 4人 (36.4%)
 4人 (36.4%)
 3人 (27.2%)

(主な就職、業界等)

施設管理業界(ウエルネスサプライ)、ホテル業界(星野リゾート、株式会社山水荘) 他

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

国内・総合旅行業務取扱管理者、サービス介助士、観光英語検定、手話検定など

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状 ※2021 年度	観光旅行科の状況	
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2 2 人	4人	18%

(中途退学の主な理由)

進路変更

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	分野 課程名		学	学科名		専門士		高度専門士	
商業実務 商業実務専門課程			斗 (2年) 圣間制 運輸コース		0				
修業	昼夜		全課程の修了に必要な総 開設				設している授業の種類		
年限	生 液	授業時数又に	は総単位数	講義	演習	実習	実	験	実技
			1728	2070 単位時間	単位時間	756 単位時間	単位	6間	0 単位時間
2年			単位時間					単化	7.時間
	生徒総定員数 (鉄道交通科の内数 生徒実員 うち留学生		うち留学生	数 専任教員 (鉄道交通科の					教員数 ^{株道交通科の} 内数
	人08	29人	0	人	1 人	2	3人		24人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載) 卒業者数 進学者数 就職者数 (自営業を含む。) その他 2 0 人 (100%) 2 人 (10%) 1 7 人 (85%) 1 人 (5%)

(主な就職、業界等)

鉄道業界(日本貨物鉄道株式会社、神奈川臨海鉄道株式会社、北海道旅客鉄道株式会社、 (株)車輛組立藤波組)等

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

国内・総合旅行業務取扱管理者、サービス介助土、観光英語検定、手話検定など

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		·
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	2人	5.1%

(中途退学の主な理由)

進路変更の為

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。 1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	·野	課程名		科名			専門士		高度専門士	
商業	商業実務 商業実務専門課程 鉄道ビジ		鉄道交通和 程 鉄道ビジネ	圣間制		0				
修業	昼夜	全課程の修了に必要な総				にして	こいる授業	美の種	類	
年限	生化	授業時数又に	は総単位数	講義演習		習	実習		験	実技
2年	昼		1728		2 単位	() 時間	756 単位時間	単位		() 単位時間
2 1		生徒実員	単位時間 うち留学生績	 		数 兼任教員		 員数	総	立時間 教員数 対域交通科の
(鉄道交通科の内数			у уда та	鉄	道交通科の	内数(鉄道交通科の内		の内数	()	大道父週科の
	80人	2人	0	0人 1		人	23人			24人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープソキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数(自営業を含む。)	その他		
2 0 人	2 人	17人	1人		
(100%)	(10%)	(85%)	(5%)		

(主な就職、業界等)

鉄道業界(日本貨物鉄道株式会社、神奈川臨海鉄道株式会社、北海道旅客鉄道株式会社、 (株)車輛組立藤波組)等

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

国内・総合旅行業務取扱管理者、サービス介助士、観光英語検定、手話検定など

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 9 人	2人	5.1%

(中途退学の主な理由)

進路変更の為

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	·野			学科	科名			専門士		高度専門士	
商業実務 商業実務専門課程 (2年)		程 (2年	ブライダル科 (2年制) 昼間制 プランナーコース		\circ			-			
修業	昼夜	l	注課程の修了に必要な総				開設している授業の種類				
年限	但仅	授業時数又的	授業時数又は総単位数		構義	演	3	実習	実	検	実技
			1728	単	1944	単位甲	6間	1530 単位時間	単位に	() 時間	0
2年	昼		単位時間		単位時						
	に員数	生徒実員	うち留学生	数	専任教員 (ブライダル科)						教員数 プライダル科 の内数
1	20人	12人	C	人		2	人	2	6人		28人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
4 0 人	6人	3 1 人	3人	
(100%)	(15%)	(77. 5%)	(7.5%)	

(主な就職、業界等)

ブライダル業界(ジョイフル丸山、ティア 他)、衣装レンタル業(まるやま京彩、さが 美ホールディングス)等

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

ABC 検定 色彩検定 フォーマルウェア検定 秘書検定 IWPA 観光英語検定

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66人	2人	3.0%

(中途退学の主な理由)

- ・コロナ禍で1年休学、進路を変更した為退学。
- ・持病がありこのまま通学をするのが難しくなった。

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	·野	課程名	学	科名		専門士	ī	高度	専門士
商業	実務	商業実務専門課	程 昼間制 ビ	ブライダル科 (2年制) 昼間制 ビューティーコン シェルジュコース		\bigcirc			
修業	昼夜	全課程の修了に必要な総 開設している授業の種類			類				
年限	生汉	授業時数又は総単位数 講義 演		演習	実習	実験		実技	
			1728	1944	単位時	0 1530間 単位時間	単位甲	0 詩 間	0 単位時間
2年	昼	単位時間 単位時間							
	定員数	生徒実員	うち留学生		教員数イダル科の数				教員数プライダル科の内数
1	20人	13人	0	人	2,	人 2	6人		28人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他		
4 0 人	6 人	3 1 人	3人		
(100%)	(15%)	(77. 5%)	(7.5%)		

(主な就職、業界等)

ブライダル業界(ジョイフル丸山、ティア 他)、衣装レンタル業(まるやま京彩、さが 美ホールディングス)等

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

ABC 検定 色彩検定 フォーマルウェア検定 秘書検定 IWPA 観光英語検定

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66人	2人	3.0%

(中途退学の主な理由)

- ・コロナ禍で1年休学、進路を変更した為退学。
- ・持病がありこのまま通学をするのが難しくなった。

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	野	課程名	学	科名		専門士	ī	高度専門士
商業	実務	商業実務専門課	ライフイ	科 (2年 配制 ベントプロ 大学コース		\bigcirc		
修業	昼夜		了に必要な総	開設している授業の種類				類
年限	生化	授業時数又以	美時数又は総単位数		演習	実習	実験	実技
			1700	2196	0	1530		0 0
			1728	単位時間	単位時間	単位時間	単位時	計 単位時間
2年			単位時間					単位時間
	に員数	生徒実員	うち留学生数		:教員数 イダル科の内 数	兼任教 (ブライダル		総教員数 (ブライダル科 の内数
1	20人	6人	0	人	2人	2	6人	28人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1、を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3。を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4、を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載) 卒業者数 進学者数 (自営業を含む。) その他 (100%) 40人 (15%) 6人 (77.5%) 3 人 (7.5%)

(主な就職、業界等)

ブライダル業界(ジョイフル丸山、ティア 他)、衣装レンタル業(まるやま京彩、さが 美ホールディングス)等

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

ABC 検定 色彩検定 フォーマルウェア検定 秘書検定 IWPA 観光英語検定

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 6 人	2人	3.0%

(中途退学の主な理由)

- ・コロナ禍で1年休学、進路を変更した為退学。
- ・持病がありこのまま通学をするのが難しくなった。

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	·野	課程名	学	科名		専門士	雇	高度専門士
商業	実務	商業実務専門課	程 (:	総合ビジネス科 昼間制 (2年制) 事務エキスパートコース		\bigcirc		
修業	昼夜		了に必要な総		開設し	ている授業	業の種	類
年限	生仪	授業時数又に	は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
			1728	1314	0 単位時間	792 単位時間	単位時	0 0
2年	昼		単位時間				単位時間	
生徒総定員数 (総合ビジネス科の内		生徒実員	うち留学生	要任教員 数 (総合ビジネス:		兼任教 (総合ビジネ 内教	ス科の	総教員数 (総合ビジネス 科の内数
	40人	3人	0	人	2人	1	9人	21人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概更)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4、を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)						
※2021 年度 ビジネ	スマナ	ー・秘書科の	状况			
卒業者数		進学者数	ζ	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
(10	4人	(0人 0%)	3 人 (75%)	1人 (25%)	

販売業(ヨドバシカメラ)他

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

秘書検定 2 級、秘書検定準 1 級、色彩検定、マナープロトコール検定 3 級 Microsoft 検定(Excel・Word・PowerPoint)、観光英語検定、手話検定など

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状 ※2021 年度ビジネスマナー・秘書科の状況							
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率					
8 1	1 Å	12.5%					

(中途退学の主な理由)

オンライン授業に馴染めず、対面授業にも休みがちになる。

他分野に興味を持ち、退学となる。

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。 1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。 また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	·野	課程名		学科名		専門士	l,	高度	専門士
商業	実務	商業実務専門課	程	総合ビジネス科 昼間制 (2 年制) 好きなことを仕事にするコース					
修業	昼夜	全課程の修了に必要な総			開設して	ている授業	をの種	類	_
年限	生仪	授業時数又に	は総単位数	講義	演習	実習	実験	负	実技
			1728	1314 単位時間	0 単位時間	792 単位時間	単位甲	0 計 間	0
2年			单位時間					単位	定時間
(総合ビシ	定員数 ジネス科の内 数	生徒実員	うち留学生	数 (ビジ	・教員数 ネスマナー・ 評の内数	兼任教」	ナー・	(E	教員数 ジネスマナ 秘書科の内 数
	40人	0人	0	人	2人	1	9人		21人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒	<u> </u>	進学者数、	就職者数	(直近の年度の状況を記載)

|※2021 年度 ビジネスマナー・秘書科の状況

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
4人	0 人	3人	1人	
(100%)	(0%)	(75%)	(25%)	

(主な就職、業界等)

販売業(ヨドバシカメラ)他

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている

(主な学修成果(資格・検定等))

秘書検定 2 級、秘書検定準 1 級、色彩検定、マナープロトコール検定 3 級 Microsoft 検定(Excel・Word・PowerPoint)、観光英語検定、手話検定など

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状 ※2021 年度ビジネスマナー・秘書科の状況							
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率					
8人	1人	12.5%					

(中途退学の主な理由)

オンライン授業に馴染めず、対面授業にも休みがちになる。

他分野に興味を持ち、退学となる。

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。 1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	野	課程名	学	科名		専門士	育	高度専門士
商業	実務	商業実務専門課	程 (:	総合ビジネス科 昼間制 (2年制) 大学コース		\bigcirc		
修業	昼夜		了に必要な総		開設し	ている授業	業の種	類
年限_	生汉	授業時数又於	は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
			1728	1314	 単位時間		単位時	0 0 単位時
2年	昼		単位時間		•]	単位時間
(総合ビ	定員数 ジネス科の i数	生徒実員	うち留学生数	KH+ I ''	一教員数 ビジネス科の 内数		ス科の	総教員数 (総合ビジネス 科の内数
	40人	1人	0	人	2 人	. 1	9人	21人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープソキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)							
※2021 年度 ビジネスマナー・秘書科の状況							
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他				
4人 (100%)	0人 (0%)	3 人 (75%)	1人 (25%)				

販売業(ヨドバシカメラ)他

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、 社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対 策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもち ろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている

(主な学修成果(資格・検定等))

秘書検定 2 級、秘書検定準 1 級、色彩検定、マナープロトコール検定 3 級 Microsoft 検定(Excel・Word・PowerPoint)、観光英語検定、手話検定など

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状 ※2021 年度ビジネスマナー・秘書科の状況							
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率					
8人	1人	12.5%					

(中途退学の主な理由)

オンライン授業に馴染めず、対面授業にも休みがちになる。 他分野に興味を持ち、退学となる。

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生だちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野 課程		課程名	学	科名		専門士	7	高度	専門士
商業実務		商業実務専 課程	門 研 昼間	f究科 部 (14	手)				
修業	日本	全課程の修了	了に必要な総		開設し	ている授業	美の種	類	
年限	昼夜	授業時数又に	は総単位数	講義	演習	実習	実験	検	実技
			864	396 単位時間	270 単位時間	216 単位単位	単位国	 0 単位	0 単位時間
1年	昼		単位時間			単	位時	間/	単位
生徒総定員数 生徒実員 うち		うち留学生	学生数 専任教員数 兼任教員		員数	総	教員数		
	20人	0人	0	人	1人		2人		3人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

(概要)

る。

各学科 2 年間の学習内容をより確実な理解とするために総まとめを行い、業界に必要とされる各専門関係で活躍できるようための支援授業をおこなう。 技術者として必要とされる専門知識を確実に理解できるように支援している。 また、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れてい

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
4 1 人	0人	3 6 人	5人	
(100%)	(0%)	(87. 9%)	(12.1%)	

(主な就職、業界等)

各種業界(東急イン、調布パルコ、ルミネエスト、JR 東海、等)

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

(備考) (任意記載事項)

年度の途中における退学者の数	中退率
8人	16.3%

(中途退学の主な理由)

進路変更、就職

(中退防止・中退者支援のための取組)

情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。個人面接を実施し、学習 意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐し ており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分	野	課程名 学		科名		専門士	1	高度	専門士
商業実	務			併修学科 (4年生)				(
修業	昼夜		了に必要な総		開設し	ている授業	美の種	類	
年限	生牧	授業時数又に	t総単位数	講義	演習	実習	実	験	実技
			3 4 5 6	9864	36	900	単位8	0 時間	0 単位時間
4年	昼		単位時間					単位	上時間
生徒総定員数 生徒実員 うち留学生数		数 専任	教員数	兼任教	員数	総	教員数		
	80人	58人	3	人	6人		人		人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載) 卒業者数 進学者数 就職者数 本業者数 大会

 音数
 進学者数
 の人(自営業を含む。)
 その他

 4人(100%)
 0人(0%)
 3人(75%)
 1人(25%)

(主な就職、業界等)

各種業界((株)アウトソーシングテクノロジー、等)

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	1人	3 %

(中途退学の主な理由)

進路変更

(中退防止・中退者支援のための取組)

情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	野	課程名	当	科名		専門士	7	高度	専門士
文化教養 文化教養専門課程		程 昼間制	キャリア科 (2年制) デザインコー	ース	\bigcirc				
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総		開設し	ている授業	美の種	類	
年限	生仪	授業時数又於	は総単位数	講義	演習	実習	実験	负	実技
			1728	1944 単位時間	828 単位時間		単位即	0	0 単位時間
2年	昼		単位時間					単化	达時間
生徒総定員数 (英語キャリア科の内 数 生徒実員 う		うち留学生	10 7 - 1	教員数 キャリア科の 内数	兼任教 (英語キャリ 内教		()	教員数 英語キャリア 科の内数	
80人 5人		1	人	2人	1	5人		17人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年 10 校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

卒業者数、進学者数、就取	卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)									
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他							
2 7 人 (100%)	9人 (33 . 3%)	1 0 人 (37%)	8人 (29.7%)							

ホテル業界(ハイアットセントリック金沢、ルートインジャパン、ANA インターコンチ ネンタルホテル)、観光業界(T-LIFE ホールディングス株式会社)等

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策 (SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削 も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

観光英語検定

実用英語検定

TOEIC

みんなの英語検定

マナー・プロトコール検定

航空検定(1級、2級)

AXESS スペシャリスト検定(国内・国際準1級、2級)

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	4人	9.5%

(中途退学の主な理由)

オンライン授業に馴染めなく、対面授業も休みがちになった。

他に興味のある分野が出来た。

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。 1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	·野	課程名	<u></u>	科名		専門士	7	高度	専門士
文化	文化教養 文化教養専門課程		程 昼間制	キャリア科 (2年制) 留学コース		\bigcirc			
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総		開設し	ている授業	美の種	類	
年限	生化	授業時数又に	は総単位数	講義	演習	実習	実験	负	実技
			1728	1944	828	216	単位問	0 間	0
2年	昼		単位時間				<u> </u>	単位	Z時間
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生	10 7 - 1	- 教員数 キャリア科の 内数	兼任教 (英語キャリ 内教		(孝	教員数 語キャリア 科の内数
	人08	2人	0	人	2人	1	5人		17人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

卒業者数、進学者数、就聊	職者数(直近の年度の)状況を記載)	
,	**************************************		no libra avan
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27人 (100%)	9人 (33. 3%)	1 0人 (37%)	8人 (29.7%)

ホテル業界(ハイアットセントリック金沢、ルートインジャパン、ANA インターコンチネンタルホテル)、観光業界(T-LIFE ホールディングス株式会社)等

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策 (SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削 も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

観光英語検定

実用英語検定

TOEIC

みんなの英語検定

マナー・プロトコール検定

航空検定(1級、2級)

AXESS スペシャリスト検定(国内・国際準1級、2級)

(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	4人	9.5%

(中途退学の主な理由)

オンライン授業に馴染めなく、対面授業も休みがちになった。 他に興味のある分野が出来た。

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

分	分野 課程名			学科名		専門士	4	高度	専門士
文化教養 文化教養専門課程		, ,,,,		1)	\bigcirc				
修業	昼夜	全課程の修	了に必要な総		開設して	ている授業	美の種	類	
年限		授業時数又に	は総単位数	講義	演習	実習	実験	负	実技
			1728	2196 単位時間	828 単位時間	216 単位時間	単位時	0	() 単位時間
2年	昼		単位時間					単位	达時間
生徒総定員数(英語キャリア科の内		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (英語キャリア科の 内数		兼任教員数 (英語キャリア科の内教		(*)	教員数 禁語キャリア 科の内数
80人 3人		0.			1	5人		17人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1、を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)				
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
27人 (100%)	9人 (33.3%)	1 0 人 (37%)	8人 (29.7%)	

ホテル業界(ハイアットセントリック金沢、ルートインジャパン、ANA インターコンチ ネンタルホテル)、観光業界(T-LIFE ホールディングス株式会社)等

(就職指導内容)

キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策 (SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削 も行い万全のバックアップ体制をとっている。

(主な学修成果(資格・検定等))

観光英語検定

実用英語検定

TOEIC

みんなの英語検定

マナー・プロトコール検定

航空検定(1級、2級)

AXESS スペシャリスト検定(国内・国際準1級、2級)

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4 2 人	4人	9.5%

(中途退学の主な理由)

オンライン授業に馴染めなく、対面授業も休みがちになった。

他に興味のある分野が出来た。

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。